

**ヒヤシンス**



ピンクは、女性をハッピーな気持ちにさせ、若返り効果をもたらす色だという。香りの高いヒヤシンスのピンクであれば、どんなに効果が高いかと…期待も高まる。

**節分・データを公開中**

ラパンアジルの自主調査「2011年節分調査」をレポート

<http://research-lapin.seesaa.net/>

調査実施日：2011年2月9日～2月10日

対象：首都圏在住 20～59歳男女

Q1 今年の「節分」に、あなたがしたことについてお答えください。

（MA/13項目について、いくつでも回答可）

回答数：672 / 男性 336名、女性 336名

**節分とは**

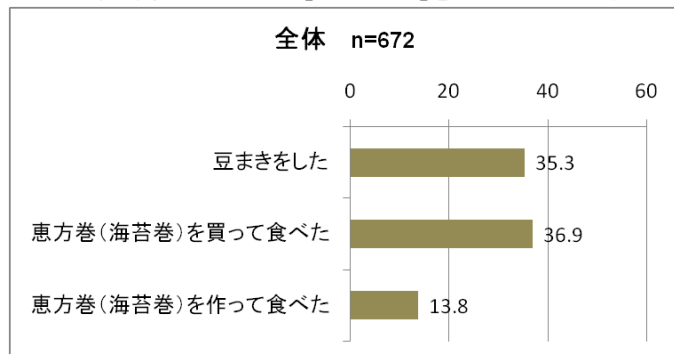
「豆まきの節分は立春の前日」と子供のころに教えられたが、元来は季節の移り変わる時の意味で、年間で四回、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指していた。立春＝新年と考えると、節分＝大晦日にあたり、大晦日には厄落としのため、「豆まき」などの追儺（ついな）の行事を行ってきた歴史がある。

豆まきで追い払う「鬼」とは、禍や病気を具現化したものだが、花街の節分には「お化け」というものもあり、舞妓や芸子さんが日本版ハロウィンのように扮装をして、魔を払う。

節分に食べる恵方巻も縁起物だが、これは歴史が浅く、昭和30年頃に海苔の販促のため大阪で考案され、徐々に知名度が上がっていったもので、セブン-イレブンが平成10年（1998年）に全国展開してから一気に普及した。

**■豆まきと恵方巻**

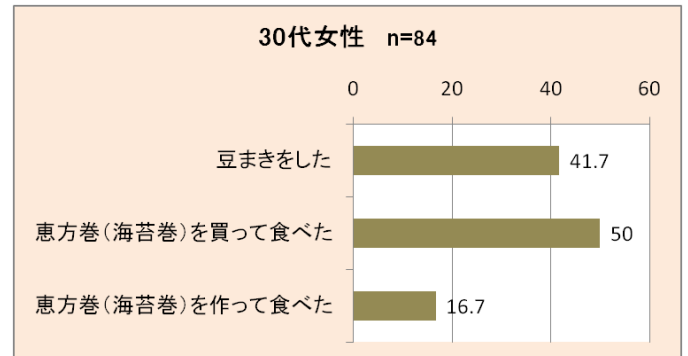
2011年節分調査から「豆まき」と「恵方巻」をピックアップした。



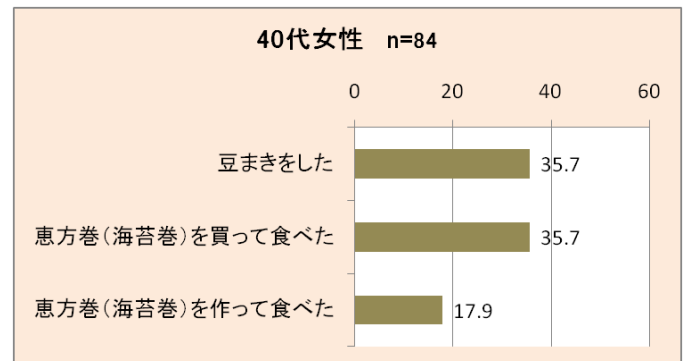
◎全体では、＜豆まきをした＞35.3%に比べて、＜恵方巻を食べた＞は50.7%ある。（買って食べた36.9%＋作って食べた13.8%）

**豆まきと恵方巻 30代女性**

特に活発なのは30代女性で、＜恵方巻を食べた＞が66.7%ある。（買って食べた50%＋作って食べた16.7%）



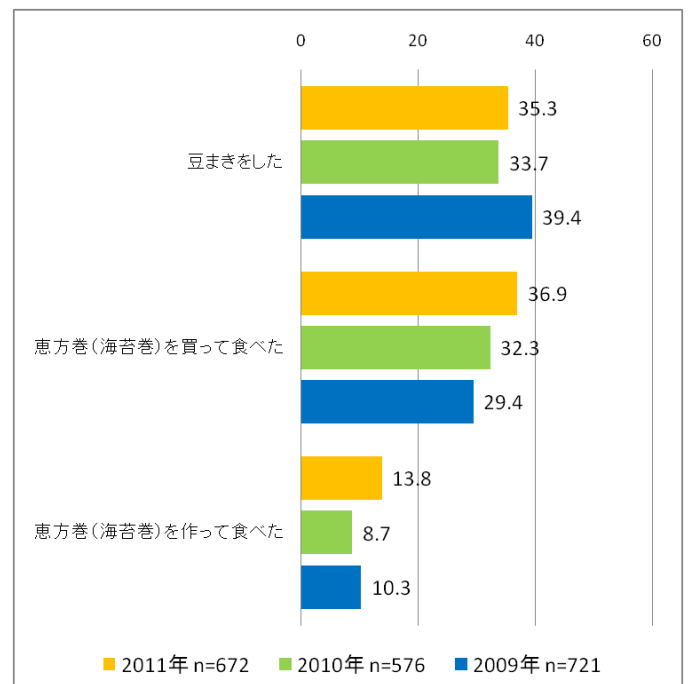
**豆まきと恵方巻 40代女性**



20代～50代女性で最も低調だったのは40代女性だが、それでも、半数以上が恵方巻を食べている。＜恵方巻を食べた＞は53.6%（買って食べた35.7%＋作って食べた17.9%）

**■全体 09年・10年・11年を比較**

\* 2009年から行っている節分調査を比較



◎3年の比較で、＜恵方巻を食べた＞の増加傾向が顕著。